

2017年度 防災教育チャレンジプラン・最終報告会

中学校が小学校や地域と協働する 防災教育活動プラン



(No16) 仙台市立郡山中学校

1 中学生が地域・小学校と協働する防災教育のねらい

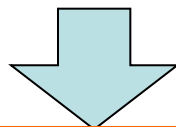
副都心再開発と核家族化が進み、中学生と住民の絆が懸念される地域において、**地域防災力を高める**。

- 災害時の**自助・共助の方法**を学ぶ
- 防災意識**と**災害対策・対応力**を高める
- 防災・減災行動**と**防災対応能力**を身に付ける

目標

中学生が核となる**防災教育活動**に取り組み
地域住民を巻き込む活動に発展させ、
小・中学校と住民の協働体制に進化を図る

方略



地域の人々との「**関わり**」・「**つながり**」を**継続・拡充**し、
防災・減災に強い、安全・安心で、持続可能な
強靱な地域社会づくりと、その担い手の育成を推進

目的

2 防災教育の計画概要(平成29年度)

実践のねらい	教育実践	時期
①震災と教訓を学ぶ ②復興を知る、支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・津波被災農家の講演 ・生徒が被災地視察と復興支援 津波被災農家に弟子入り体験 	9月
③防災・減災の知識、 スキル、行動を習得する	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が地域と市民センターが行う 防災訓練を支援 ・生徒が主導する地域防災訓練 ・防災教育シンポジウムを開催 	10月 11月
④教育成果を発信する	ユネスコ・スクール東北大会等で発表 各種大会にて実践発表、資料公表	11月 12月
⑤学習実践を評価する 自己・外部評価、 第三者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAによる自己・外部評価 ・防災教育チャレンジプラン等で 報告と講評 	1月 2月

メインプラン

3 定期的に行う訓練と防災マップ製作【1】

3-1 毎年4月と11月に、校庭へ避難訓練



3-2 18地区に分かれて、集団下校訓練



3 定期的に行う訓練と防災マップ製作【2】

3-3 シェイクアウト訓練と緊急地震速報の学習



3-4 1年生が地区ごとに防災マップ製作し発表



4 津波被災農家の講演、被災地支援・視察【1】

(1) 津波被災農家の講演：平成29年9月6日・開催

- ・大震災と復興の状況
 - ・農業再生と心の変容
 - ・未来への決意と意欲
- など、1年生に講演



(2) 被災地支援と視察・交流 & ミュージカル視聴

	1年生（約200人） H29.9.12	2年生（約200人） H30.1.31
訪問地	仙台市荒浜（仙台市沿岸部）	仙台市荒浜 & 県民会館
活動内容	○津波被災小学校：荒浜小学校 ○農家が荒浜地域・慰霊塔を案内 ○津波被災農地にて除草作業 ○農家との交流	○津波被災小学校：荒浜小学校 ○津波被災地の復興視察 ○ミュージカル「ジパング青春記」 約400年前の大震災からの船出

4 津波被災農家の講演、被災地支援・視察【2】

1年生⇒津波被災地視察と被災農家の支援



被災地
を巡り、
慰霊塔
で祈り



H29年度も小雨の中、津波被災地を視察、畑で除草作業



被災農家
で
畑の除草



4 津波被災農家の講演、被災地支援・視察【3】 〈平成28・29年度 1年生のアンケート調査結果〉

	調査内容	年度	大いに	まあまあ
1	大震災のマスコミ報道を受けて、大変なことが起きていることを感じる。	H28	85.6	13.1
		H29	94.3	5.7
8	被災地を実際に視察して、被災地の復旧・復興に、自分の力を活かしたいと思う。	H28	39.9	47.5
		H29	55.1	38.1
10	被災地のために、何ができるか考えたいと思う。	H28	41.9	40.6
		H29	54.0	35.8
12	今回の活動を通じて、このようなボランティア・交流は必要であると感じた。	H28	65.6	25.6
		H29	69.3	20.5
14	今回の活動を通じて、人が人を助けることは、大切なことだと感じた。	H28	79.9	18.0
		H29	83.5	12.5

表記の調査内容では、**選択肢“大いに”**と**“まあまあ”**を合わせると8割超え

6 中学生が協働する地域防災訓練

本校学区内の3小学校・地域との協働実践

郡山小学校

仙台市総合防災訓練で
津波避難訓練の指定校



○参加者数：417人

(本校生徒26人)

○訓練内容：一斉メール配信、集団避難、避難所開設、消火等

八本松小学校

八本松連合町内会が主催
地域防災訓練で連携



○参加者数：1,300人

(本校生徒75人)

○訓練内容：避難所開設、炊き出し、救護、消火、AED等

東長町小学校

本校の中学生が主導する
地域防災訓練と連携



○参加者数：891人

(本校生徒134人)

○訓練内容：一時避難、備蓄物資搬出等⇒**本校へ集団避難**

平成29年度 中学生が主導する地域防災訓練

本校の
校舎

実施日 平成29年11月18(土) 8:00
本校に消防署の特殊車両が到着

7 H29・中学生が主導する地域防災訓練の概要[1]

時刻	実施概要	生徒の活動	住民の動向
<p>8:15</p> <p>8:30</p> <p>9:00</p> <p>10:00</p> <p>30</p> <p>11:40</p>	<p>地震発生</p> <p>一時避難・誘導</p> <p>避難所開設・運営</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>コース別・学習</p> <p>A 消防署</p> <p>B 気象台</p> <p>C 備蓄展示</p> </div> <p>炊き出し試食</p>	<p>一時避難所へ</p> <p>集団避難訓練</p> <p>(郡小・東長小・公園)</p> <p><班毎に活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ①避難所の運営 ②炊き出し調理 ③救急救護 ④避難誘導 ⑤取材報道 	<p>○集団避難訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区毎に集合 ・生徒が誘導して避難所へ移動 <p>○避難所・体験</p> <p>○コース別学習に参加・視聴</p> <div style="border: 1px solid lightblue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑥ 町内会長と生徒会は、災害対策本部【体育館ステージ】</p> </div>
<p>13:30</p> <p>16:00</p>	<p>防災教育シンポジウム</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>生徒会が運営・実施</p> </div>	<p><報道班が本日の号外新聞を配布></p> <ul style="list-style-type: none"> ①講演「岩手の防災教育から学ぶ～釜石東中の取組」 講師 岩手大学森本准教授、元釜石東中・生徒会長 ②報道班が、各班の活動と取材結果を報告 ③総括講評:(仙台市教育委員会) 	

7 中学生が主導する地域防災訓練[2]

実施日 平成29年11月18日(土)

生徒の役割分担

〈 6班編成 〉

- ①避難所設営・運営班
- ②集団避難・誘導班
- ③炊き出し調理班
- ④保健・救急救護班
- ⑤取材報道班
- ⑥災害対策本部
[生徒会・役員も担当]

郡山中・学校支援組織
コンソーシアム
「あすと郡山」

〈支援担当の団体等〉

- 民生委員会・社明委員
- 交通指導隊・消防団
- PTA、日赤奉仕団
- 老人会、社会福祉協議会
- 町内会長・育成委員会

組織外からも支援

■ 市教委・大学など

生徒の班活動を、組織が分担支援

7 H29・中学生が主導する地域防災訓練の概要[3]

班ごとの活動の様子①

(1) 避難所設営・運営班



受付・相談の対応



避難した住民216人

(3) 集団避難・誘導班



一時避難所から
集団避難



学校での避難誘導

(2) 炊き出し調理班



生徒40人が
炊き出し調理



炊き出しの
配給



生徒と参加者
が試食
生徒分を含め
900食を提供

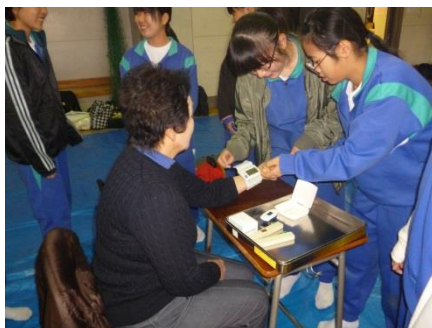
7 H29・中学生が主導する地域防災訓練の概要[4]

班ごとの活動の様子②

(4) 救急・救護班



避難者の健康チェック



避難者の血圧測定

(6) 災害対策本部(生徒会)



本部の町内会長



本部での生徒会

(5) 取材報道班



避難所にて、取材活動

取材記事を作成し、午後
に**号外新聞**
を配布



7 H29 中学生が主導する地域防災訓練の概要[5]

【 3つのコース別学習の様子 】

(1) 気象台の2つの講演



①県内の大雨被害

②東北の気象の変化

(2) 備蓄物資の展示説明



仮設トイレ等の組立



生徒が備蓄品説明

(3) 消防署の展示・実演



特殊装備車・
救急車・梯子
車の展示説明

濃煙体験



梯子車で4F
から救助を
実演体験



7 H29・中学生が主催する防災教育シンポジウム[6]

(1) 講演：岩手大の准教授と学生

釜石の学校の防災教育 ～震災前とその後



教え子との、初共演



生徒・住民が視聴

(2) 取材班の活動報告



取材班が活動報告

(3) 市教委の講評と生徒会長



生徒会長の閉会挨拶



仙台市教委が講評



訓練裏方にも取材

7 H27~29中学生が主導する地域防災訓練とシンポ[7]

アンケート結果: 4件尺度法で選択肢“大いに”割合(%)表記

平成27年度の入学生と住民の変容 [H27⇒H28⇒H29]

①学校と地域が一緒に訓練は必要	生徒	72.5⇒78.3⇒78.2
	住民	86.4⇒68.0⇒80.5
②生徒主導の訓練は地域防災に貢献	生徒	62.1⇒75.3⇒75.9
	住民	81.8⇒65.4⇒87.5
③地域防災訓練等の防災教育は大切	生徒	72.0⇒69.7⇒80.4
	住民	90.9⇒87.5⇒90.0
④人を助け、支え合っていきたい	生徒	72.3⇒68.4⇒70.6
⑤苦難を乗り越える努力をしていく	生徒	59.3⇒55.8⇒62.4
⑥夢や希望を持ち続け、頑張りたい	生徒	71.0⇒65.4⇒76.5

・学校と地域が一緒に訓練の必要性、中学生の地域貢献、防災教育の重要性 ……

H27年の入学生は中3で75%越え、住民はH28年に一端低下するものの80%以上

・「助け支え合う思いやり」「苦難に向かう努力の大切さ」「夢や希望に向けての頑張り」

心に響く刺激や感動、意欲を享受 中2で低下するものの中3で向上する成果

7 H29・中学生が主導する地域防災訓練とシンポ[8]

アンケート調査の相関分析

H29 地域防災訓練アンケート調査・相関分析【第3学年】

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	NO7	NO8	NO9	NO10	NO11	NO12	NO13	NO14	NO15	NO16	NO17
NO1		0.49	0.44	0.46	0.57	0.70	0.44	0.36	0.56	0.18	0.41	0.29	0.30	0.30	0.30	0.25	0.23
NO2			0.38	0.33	0.37	0.50	0.40	0.33	0.34	0.06	0.30	0.33	0.25	0.37	0.34	0.28	0.19
NO3				0.44	0.46	0.46	0.47	0.46	0.37	0.28	0.47	0.46	0.45	0.42	0.34	0.45	0.34
NO4					0.37	0.52	0.39	0.40	0.54	0.31	0.36	0.32	0.36	0.24	0.28	0.29	0.29
NO5						0.61	0.45	0.44	0.49	0.20	0.36	0.30	0.34	0.28	0.30	0.24	0.25
NO6							0.46	0.43	0.65	0.18	0.46	0.35	0.45	0.36	0.38	0.26	0.25
NO7								0.72	0.37	0.22	0.48	0.49	0.45	0.50	0.46	0.44	0.45
NO8									0.41	0.13	0.51	0.48	0.48	0.46	0.40	0.39	0.45
NO9										0.38	0.36	0.31	0.52	0.36	0.31	0.27	0.29
NO10											0.24	0.10	0.12	0.11	0.22	0.22	0.22
NO11												0.78	0.58	0.60	0.56	0.49	0.51
NO12													0.70	0.69	0.59	0.58	0.56
NO13														0.73	0.52	0.50	0.50
NO14															0.73	0.59	0.56
NO15																0.67	0.61
NO16																	0.64
NO17																	

中学生の変容

人を思いやる豊かな人間性が、
生き抜く力とその意欲を培うこと
に繋がる

H29 地域防災訓練アンケート調査・相関分析【地域住民】

	NO1	NO2	NO3	NO4	NO5	NO6	NO7	NO8	NO9	NO10	NO11	NO12	NO13	NO14	NO15	NO16
NO1		0.93	0.49	0.62	0.64	0.74	0.59	0.82	0.77	0.54	0.43	0.73	0.62	0.74	0.72	0.85
NO2			0.49	0.62	0.64	0.75	0.68	0.82	0.77	0.61	0.29	0.73	0.63	0.66	0.72	0.85
NO3				0.48	0.5	0.69	0.15	0.50	0.58	0.41	0.16	0.43	0.37	0.50	0.36	0.41
NO4					0.59	0.61	0.38	0.63	0.63	0.58	0.20	0.68	0.70	0.74	0.65	0.71
NO5						0.81	0.32	0.72	0.55	0.48	0.20	0.62	0.54	0.59	0.49	0.58
NO6							0.4	0.80	0.70	0.60	0.27	0.63	0.61	0.73	0.59	0.67
NO7								0.48	0.68	0.36	0.69	0.42	0.46	0.49	0.50	0.65
NO8									0.84	0.73	0.24	0.83	0.69	0.78	0.63	0.88
NO9										0.67	0.52	0.76	0.72	0.78	0.56	0.83
NO10											0.12	0.71	0.88	0.82	0.45	0.67
NO11												0.20	0.34	0.32	0.23	0.33
NO12													0.81	0.78	0.62	0.79
NO13														0.85	0.52	0.70
NO14															0.72	0.80
NO15																0.72
NO16																

住民の変容

住民は、学校と地域が一緒になって防
災訓練を行う必要性和、防災教育の重
要性を強く認識し、学校と地域が協働
する取組に対して強い期待感を示唆

8 企業や財団、保護者等の連携・援助・支援

(1) 地元燃料店と財団援助

地元の
燃料店
の援助



ガスコンロ
や大鍋の
購入援助

(2) 保護者の協力支援

炊き出しの豚汁調理を支援



(3) 学校・生協との連携による炊き出し食材の搬入訓練



9 地域組織や行政、小学校との協働・連携

※住民の要求水準と期待感の向上に対する検討・協議そして協働

(1) 地域組織と行政等との防災会議 【H29.10.5開催】

①協議内容〈 前年度の課題解決に向けて 〉

- ・仙台市避難所運営マニュアルの改訂
- ・中学生が主導する住民参加型の地域防災訓練の検討・協議など

②参加者：町内会長、市・区行政、 民生児童委員、婦人防火クラブ、 体育振興会、日赤奉仕団 など



(2) 小・中学校の連携推進のための合同教員研修会

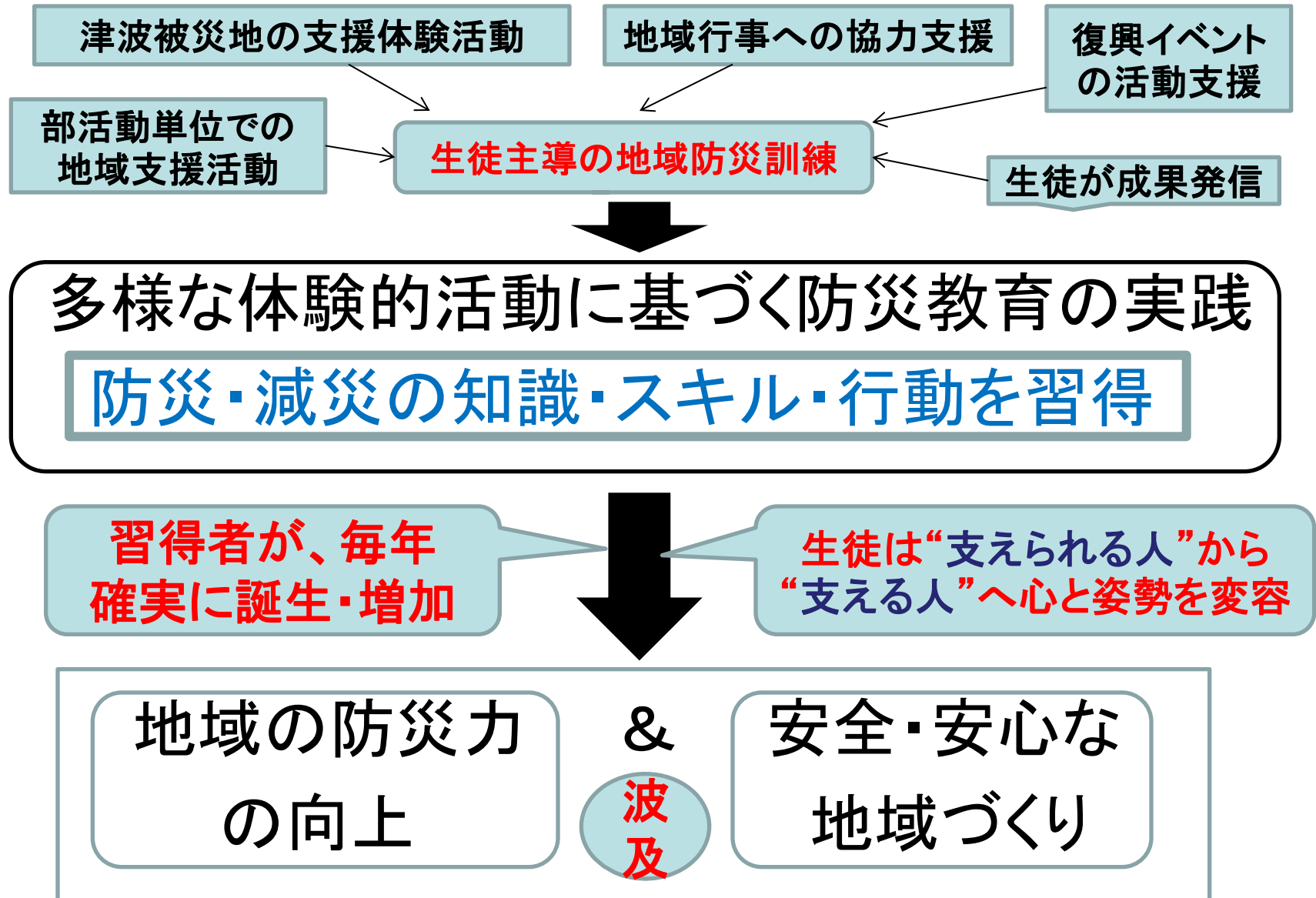
- ①本校中学校区の3小学校の全教員参加
- ②全体会：防災教育や生徒指導の研修
- ③分科会：学力向上、現職研修、生徒指導
特別活動・特別支援教育

【 H29. 8. 23開催 】



【全体会】
中学校の
防災教育
を校長が
発表

10 プランの期待される成果・効果【1】



10 プランの期待される成果・効果【2】

地域の防災力向上 & 安全・安心な地域づくり

学校と地域の共通目標

目標の達成度を高めるため ↓ 学校が地域を巻き込む協働体制

学校が地域組織と連携・協働する体制構築

- 双方向の支援体制 【 学校 ↔ 地域 】
- 町内会・婦人会など多彩な地域組織が参画

防災教育を中学生と住民が共に学ぶ取組展開

- ① 両者の関わりとつながりを深める取組 → 絆づくりに寄与
- ② 組織体制による教育実践が継続性と推進力を向上
- ③ 地域特性に応じた防災・減災文化の構築の可能性

持続可能な地域コミュニティ形成

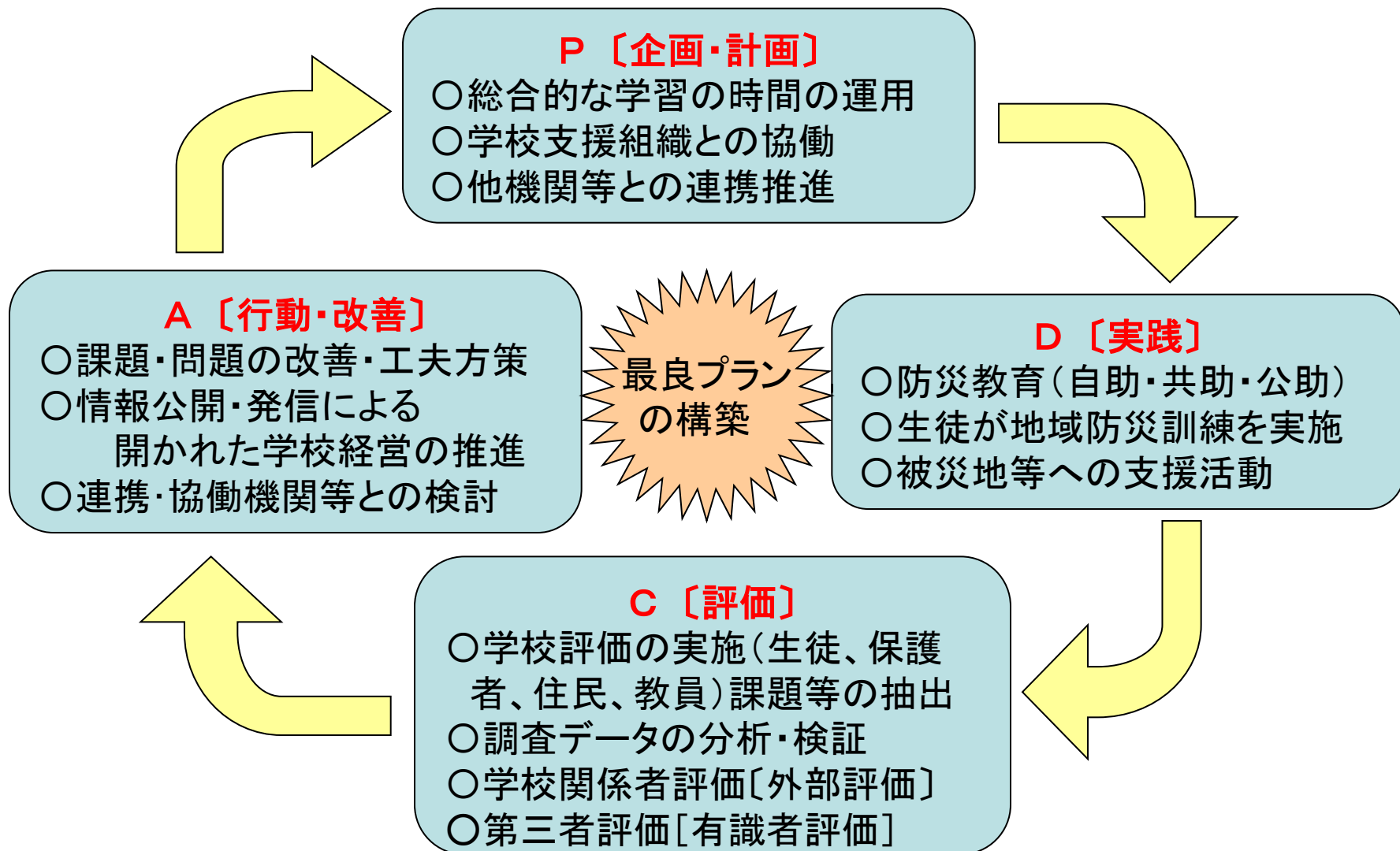
平成27年度～ 防災教育といじめ抑止教育を融合

教育 内容	融 合 教 育	
	防災教育	いじめ抑止教育
自 助	自分の命は自分で守る	
共 助	互いに助け合い、支え合う	
公 助	国や行政の組織・機関が救う	
期待される 成果・効果	“支えられる人” から “支える人、支え合う人” へ心と姿勢の変容 本校学校支援組織・企業・ 東北大・宮教大・岩手大の支援	○ “いじめ傍観者 “から “いじめ仲裁者 “へ行動変容 ○ “心の筋肉を鍛える” 心理効果 早稲田大学との共同研究 「心理教育的プログラム開発」と 「マインドフルネス」

震災でもいじめでも、どんなに苦しく、辛く、悲しい困難な状況下でも、自他の命と心を共に支え、支え合う人と集団を育み、培う。

11 PDCAによる検証・改善

<より優れたプランに向けた改良のサイクル>



最後に〈東日本大震災を鑑みた防災教育の方略〉

① **支援の輪**が広がることを願い

復興支援による交流活動の拡充と成果の広報

② 地域の**防災・減災文化の構築**を目指し

中学生が主導する地域防災訓練の継続と拡充

③ 大震災の**教訓を受け継ぐ取組(もの・こと・ひと)**として

中学生と住民がともに学ぶ防災教育を創出

④ 地域・学校単位の**防災教育を拡充・発展**するため、

地域防災教育・研究会の創設を図る

義務教育と中学生には、大震災を風化させない“**使命**”と“**力**”がある。未来を担う中学生のために、防災教育を全ての学校が必修化することを願う。



2007年5月7日 定禅寺通

ご清聴ありがとうございました。

仙台市立郡山中学校

【参考】仙台市における防災教育に関する調査報告

～東日本大震災後の防災教育の現況と今後は如何に～

1 調査の実施年度と対象者の概要

職名と 年代	校長	教頭	教 諭				合計
			20代	30代	40代	50代	
平成25年	63						63
平成27年	63	65	216	251	336	423	1354
平成28年	63	69	267	322	331	448	1500

※調査対象：仙台市立中学校の全教員

回収率について：平成27年度 73.2%

平成28年度 75.0%

仙台市における防災教育に関する調査報告【2】

2 調査項目：各項目の“現況”と“今後”を4件尺度法で調査、数値化して百分率を算出

NO	目的内容について	NO	実践内容について
1	防災に関わる技術を身に付ける	11	訓練 ①避難訓練 ②避難所訓練 ③救命訓練
2	防災意識を高める	12	体験 ④キャンプ体験 ⑤イベント体験
3	防災対応能力を育成する	13	視聴 ⑥学習・教育機会 ⑦学習材 ⑧施設見学
4	遊び・楽しみながらの防災	14	調査・実験 ⑨科学調査研究 ⑩視聴調査 ⑪実験等
5	災害を想定した訓練	15	奉仕 ⑫奉仕活動
6	災害に強い地域を作る	16	連携 ⑬組織体制
7	災害を疑似体験する	17	つくる ⑭防災教材 ⑮情報提供 ⑯防災 資料 ⑰製作物
8	防災に役立つ資料づくり		
9	防災に関する知識を深める	18	育成・指導 ⑱人材育成 ⑲指導教材
10	災害時に支援者になる	19	その他 ⑳備蓄食材栽培・加工

仙台市における防災教育に関する調査報告【3】

3 調査結果と分析の概要

①防災教育の目的内容について

“取組の現況”

“今後の必要性”

職	年度	1位	2位	3位
校長	H27	災害を想定した訓練84.9	防災対応能力を育成する 76.6	防災意識を高める 75.8
	H28	災害を想定した訓練86.5	防災対応能力を育成する 79.0	防災意識を高める 78.2
教頭	H27	災害を想定した訓練81.0	防災対応能力を育成する 71.9	防災意識を高める 71.1
	H28	災害を想定した訓練81.5	防災意識を高める 77.9	防災対応能力を育成する73.5
教諭	H27	災害を想定した訓練79.7	防災意識を高める 72.6	防災対応能力を育成する70.1
	H28	災害を想定した訓練81.3	防災意識を高める 74.2	防災対応能力を育成する71.3

職	年度	1位	2位	3位
校長	H27	災害を想定した訓練96.0	防災対応能力を育成する 94.4	防災意識を高める 92.1
	H28	防災対応能力を育成する96.8	災害を想定した訓練96.4	防災意識を高める 93.3
教頭	H27	災害を想定した訓練94.4	防災対応能力を育成する 93.7	防災に関する技術を身に付ける89.1
	H28	災害を想定した訓練92.4	防災対応能力を育成する 91.7	防災に関する技術を身に付ける89.9
教諭	H27	災害を想定した訓練91.5	防災対応能力を育成する 89.2	防災に関する技術を身に付ける86.8
	H28	災害を想定した訓練92.3	防災対応能力を育成する 90.4	防災意識を高める 87.7

- 現況や今後、職名に関わらず、上位3項目は「想定訓練」「防災対応能力」「防災意識」
- 特に「災害を想定した訓練」は、ほぼ職名に関わらず、両年ともに、現況も今後も、防災教育の目的として最も高い

仙台市における防災教育に関する調査報告【4】

4 調査結果と分析の概要

①防災教育の**目的**内容について

項目ごと“今後の必要性”－“取組の現況”

		1位	2位	3位
校長	H25	災害時に支援者になる26.1	防災に役立つ資料づくり25.7	災害に強い地域を作る24.2
	H27	災害時に支援者になる24.9	災害を疑似体験する23.8	災害に強い地域を作る21.8
	H28	災害時に支援者になる18.7	災害に強い地域を作る17.9	防災対応能力を育成する17.8
教頭	H27	防災対応能力を育成する21.8	災害時に支援者になる21.6	防災に関する技術を身に付ける19.9
	H28	災害時に支援者になる20.3	防災対応能力を育成する18.2	防災に関する技術を身に付ける16.7
教諭	H27	災害時に支援者になる21.8	災害を疑似体験する20.9	防災対応能力を育成する19.1
	H28	災害時に支援者になる21.1	災害を疑似体験する20.3	防災対応能力を育成する19.1

- H27・H28の両年とも、ほぼ1位 「災害時に支援者になる」
- 校長は3ヶ年とも、上位3つに「災害に強い地域を作る」
- ※ 災害時に支援者になる人材育成⇒災害に強い地域の一助へ

仙台市における防災教育に関する調査報告【5】

5 調査結果と分析の概要

②防災教育の**実践**内容について

項目ごと“今後の必要性”－“取組の現況”

		1位	2位	3位
校長	H25	⑱人材育成31.2	④キャンプ体験27.7	②避難所訓練 27.3
	H27	⑱人材育成24.3	⑫奉仕体験22.9	④キャンプ体験20.7
	H28	⑫奉仕体験21.8	⑱人材育成21.1	⑰指導教材18.8
教頭	H27	⑱人材育成28.0	⑫奉仕体験22.2	⑪実験等20.3
	H28	⑱人材育成23.9	⑰指導教材20.6	⑯防災資料19.4
教諭	H27	⑱人材育成22.4	⑫奉仕体験21.3	③救命訓練20.6
	H28	⑱人材育成22.0	⑫奉仕体験19.9	③救命訓練18.6

○ ほぼ職名に関わらず、今後より必要性を最も高める実践は「人材育成」

※ 防災教育の実践では、防災・減災のための人材育成が必要と考えている。

6、仙台市における防災教育の調査報告【まとめ】

- ①これからの本市の防災教育では、
災害時に支援者になるため、その人材を育成し、
災害に強い地域づくりに資すること
を目指している。
- ②その際には、
防災教育に必要な教材、指導法、時間が確保
され、その開発や方法の工夫改善の進展
を望んでいる。
- ③防災教育の推進には、
地域や行政、他校種との連携・協働の必要性を示唆
に期待をしている。

6、仙台市における防災教育の調査報告【まとめ】

- ①これからの本市の防災教育では、
災害時に支援者になるため、その人材を育成し、
災害に強い地域づくりに資すること

を目指している

- ②その際

**調査結果から
本校の防災教育の妥当性
を示唆・検証**

を望んでいる。

- ③防災教育の推進には、
地域や行政、他校種との連携・協働の必要性を示唆
に期待をしている。